

講義名称	保育内容 言葉	担当教員名	鈴木 まゆみ
科目群	専門科目 (M) CA1・DI1・DI2		
科目区分等	保育の内容・方法に関する科目 選択必修	単 位	2
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	CMPM1122

授業のキーワード	子ども・領域「言葉」・発達・児童文化財
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「言葉」の意義、子どもの発達に与える影響について理解する。</li> <li>・他の領域との関係を理解し、教材研究に取り組む。</li> </ul>
期待される学習成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期に育みたい資質能力と関連づけながら、子どもの豊かな言葉を育むために、言葉で伝えあうことの楽しさや大切さを体得する。</li> <li>・保育における児童文化財の表現技術を習得することができる。</li> </ul>

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	ガイダンス	講義内容の説明、保育内容における領域「言葉」について理解します。
2	幼児教育の基本1 改訂を受けて	養護と教育の一体化や学童期への接続、10の姿について理解します。
3	幼児教育の基本2	環境を通して幼児の主体的活動を促し、遊びを通しての総合的な保育について理解します。
4	領域（言葉）	幼稚園教育要領や保育所保育指針の領域（言葉）と他の領域との関係を理解します。
5	乳幼児期の発達とことば1	0歳児のことばの発達について理解します。
6	乳幼児期の発達とことば2	乳児期の子どものことばの発達について理解します。
7	乳幼児期の発達とことば3	幼児期の子どものことばの発達について理解します。
8	ことばの発達と大人の存在	子どもの心の拠り所や特別な配慮が必要な子どもとの関わりについて理解します。
9	言葉に対する感覚を豊かにする	わらべ唄や手遊び、ことば遊び等を通して、言葉に対する感覚を豊かにします。
10	児童文化にふれる1	絵本や紙芝居、素話を体験し、児童文化財に対する知識や表現技術を理解する。
11	児童文化にふれる2	ペープサートやエプロンシアター等に取り組み、児童文化財に対する知識や表現技術を理解する。
12	児童文化財の実践1	グループで題材を決め、発表へ向けて役割分担を行い練習する。
13	児童文化財の実践2	児童文化財の練習の中で意見交換のもとに改善を行う。
14	児童文化財の実践3	グループごとに児童文化財を発表し、お互いを評価し、自己評価をまとめる。
15	授業の振り返りとまとめ	授業の取り組みを振り返り、課題についてレポートにまとめる。

定期試験	随時試験 授業内に課題レポートに取り組めます。
授業時間外学習	改訂版幼稚園教育要領・保育所保育指針の該当箇所を予習、復習してください。 授業で紹介した児童文化財と沢山触れ、自己研究に取り組んでください。
評価方法	筆記試験70%、授業貢献度30%
使用する教科書（必ず購入してください）	『実践につなぐことばと保育』近藤幹夫 ひとなる書房
参考文献	随時紹介